

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-285473

(43) 公開日 平成9年(1997)11月4日

(51) Int.Cl.⁶

A 6 1 B 17/56

識別記号

庁内整理番号

F I

A 6 1 B 17/56

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数7 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願平8-101231

(22) 出願日 平成8年(1996)4月23日

(71) 出願人 000001199

株式会社神戸製鋼所

兵庫県神戸市中央区脇浜町1丁目3番18号

(72) 発明者 高橋 広幸

兵庫県神戸市西区高塚台1丁目5番5号

株式会社神戸製鋼所神戸総合技術研究所内

(72) 発明者 難波 吉雄

兵庫県神戸市西区高塚台1丁目5番5号

株式会社神戸製鋼所神戸総合技術研究所内

(72) 発明者 土居 憲司

兵庫県神戸市西区高塚台1丁目5番5号

株式会社神戸製鋼所神戸総合技術研究所内

(74) 代理人 弁理士 明田 莞

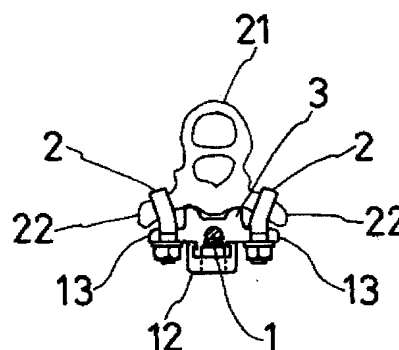
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 脊椎デバイス及びダブルフック部材並びにロッド保持用部材

(57) 【要約】

【課題】 手術に際しての手法の容易化並びに処理時間の短縮化を実現させて被手術者の負担軽減を図るとともに、脊椎骨に対する固定力を強化して脊椎骨の強固な連結を可能とすることによって、脊椎矯正の実効を挙げる。

【解決手段】 脊椎骨21の後方に上下方向に位置して配設される棒体の脊椎矯正用の1本のロッド1と、嘴状に対向させた一对のフック片5A、5Bで横突起22に上下両方向から握持して係合保持させる複数のダブルフック部材2、2と、ロッド1に係合してこれを脊椎骨21の後方に保持固定するロッド固定部12が中間部に、ダブルフック部材2に連結し固定させる連結固定部13が両端部にそれぞれ設けられ、脊椎骨21の相対する左右両横突起22、22に係合保持された一对のダブルフック部材2、2間に橋架し固定させて脊椎骨21の後方に配設される複数のロッド保持用部材3とから成り、脊椎矯正を後方側から行うために用いられる脊椎デバイス。



後方側に装着した状態及び分離した状態で表す平面図である。

【図8】本発明の実施例に係るダブルフック部材の斜視図である。

【図9】本発明の他実施例に係るダブルフック部材を腰椎の後方側に装着した状態の平面図である。

【図10】従来の脊椎デバイスの第1例の説明図で、(A)は全体図、(B)は斜視図である。

【図11】従来の脊椎デバイスの第2例の説明図である。

【図12】従来の脊椎デバイスの第3例の説明図である。

【図13】従来の脊椎デバイスの第4例の説明図である。

【図14】従来の脊椎デバイスの第5例の説明図である。

【符号の説明】

1…ロッド

2…ダブルフック部材

3…

*…ロッド保持用部材

4…ロッド保持用部材

…他方のフック片

6…フック部

…ねじ軸部

9…貫通穴

…座金

12…ロッド固定部

4…凹部

10

15…あり部

7…セットスクリュー

18…切欠溝

0…ロッド固定部

21…脊椎

3…棘突起

26…フック部

9…雌ねじ

30…セットスクリュー

5A…一方のフック片

5B

7…係合部

8

10…ナット

11

13…連結固定部

1

16…蓋材

1

19…本体部材

2

22…横突起

2

28…ねじ軸部

2

31…ナット

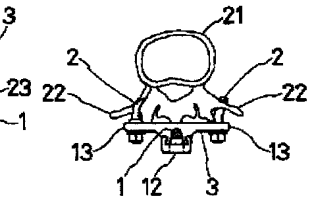
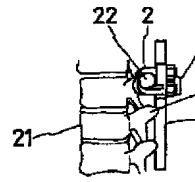
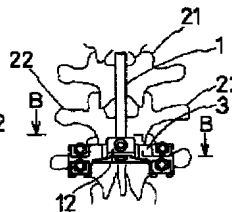
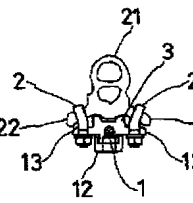
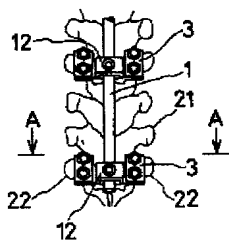
【図1】

【図2】

【図3】

【図4】

【図5】

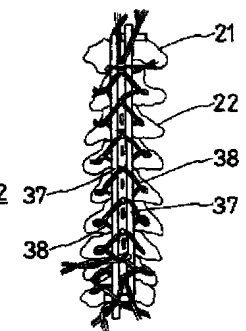
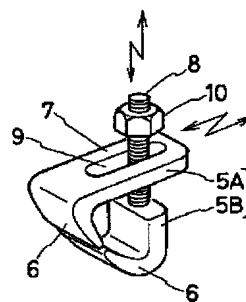
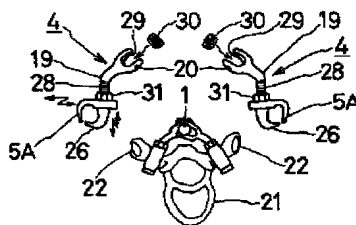
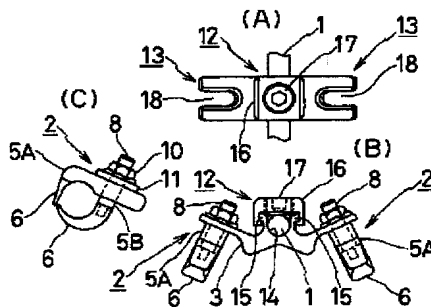


【図6】

【図7】

【図8】

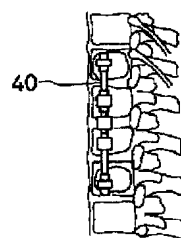
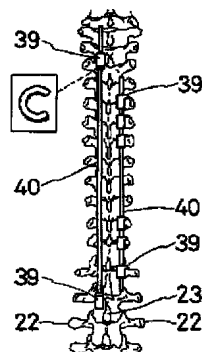
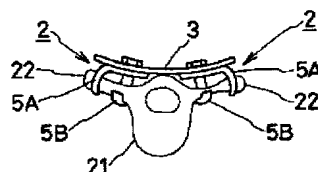
【図11】



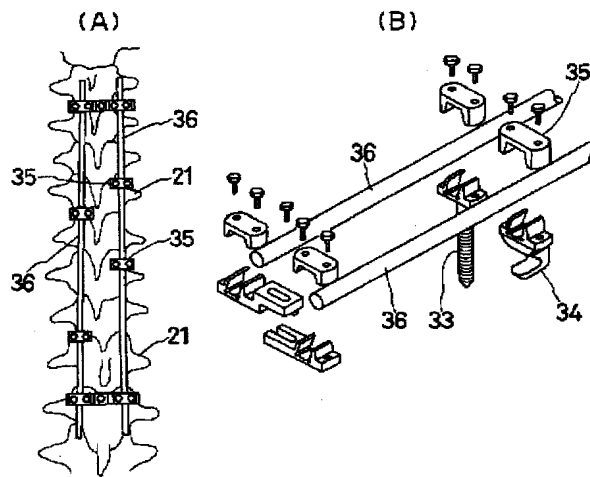
【図12】

【図9】

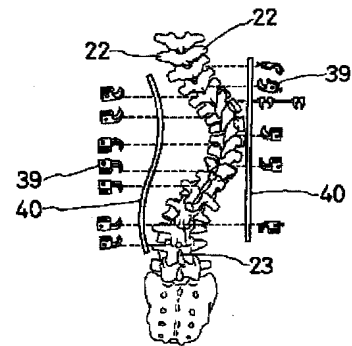
【図14】



【図10】



【図13】



フロントページの続き

(72)発明者 小野村 敏信
西宮市北昭和町14-26

(72)発明者 瀬本 喜啓
滋賀県大津市瀬田五丁目3-2

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 09-285473

(43)Date of publication of application : 04.11.1997

(51)Int.Cl.

A61B 17/56

(21)Application number : 08-101231

(71)Applicant : KOBE STEEL LTD

(22)Date of filing : 23.04.1996

(72)Inventor : TAKAHASHI HIROYUKI

NANBA YOSHIO

DOI KENJI

ONOMURA TOSHINOBU

SEMOTO YOSHIHIRO

(54) SPINE DEVICE AND DOUBLE HOOK MEMBER AND ROD HOLDING MEMBER

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To facilitate the technique of an operation and to shorten the time for a treatment by providing the device with a rod for spine correction, double hook members, rod fixing parts and connecting and fixing parts and including plural pieces of rod holding members for fixing the double hook members by bridging these members.

SOLUTION: The spine device is composed of one piece of the rod 1 which is a surgical implant used for executing the spine correction from a rear side, plural pieces of ≥ 2 sets of two pieces one set of the double hook members 2 and plural pieces of ≥ 2 pieces of the rod holding members 3. The rod 1 is disposed to exist

in a vertical direction behind the vertebra 21. On the other hand, the double hook members 2 have two pieces of hook pieces disposed to face each other approximately like a bill and are mounted at the dipophysis 22 of the vertebra 21 by gripping, engaging and holding from both upper and lower directions. These members are used as the anchor materials for the rod 1. The rod holding members 3 are provided with the rod fixing parts 12 in the thick intermediate parts and are provided with the connecting and fixing parts 11 at both ends.

